

女川地域の緊急時対応（概要版）①原子力災害対策重点区域・広域避難先

1. 女川地域の原子力災害対策重点区域

- 女川地域における原子力災害対策重点区域(概ね半径30kmの範囲)の人口は198,946人(平成31年4月1日現在)。
- PAZ内の人口は1,113人(女川町547人、石巻市566人)。
- UPZ内の人口は関係7市町197,833人、うち半島部、離島部の準PAZの人口は2市町2,376人。



※地理院タイル(白地図)をもとに内閣府(原子力防災)作成

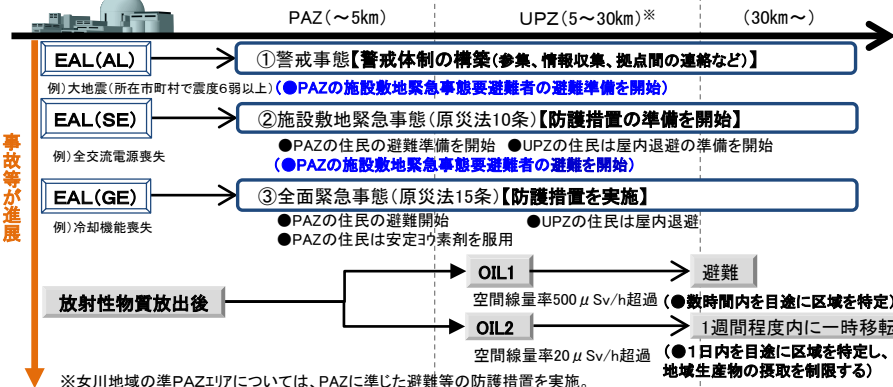
関係市町	PAZ内 (概ね5 km)		UPZ内 (概ね5~30km)		合計
				準PAZ内	
女川町	547人	5,919人	48人		6,466人
石巻市	566人	143,135人	2,328人		143,701人
登米市		9,765人			9,765人
東松島市		36,478人			36,478人
涌谷町		711人			711人
美里町		113人			113人
南三陸町		1,712人			1,712人
合計	1,113人	197,833人	2,376人		198,946人

※PAZ(予防的防護措置を準備する区域):Precautionary Action Zone

※UPZ(緊急防護措置を準備する区域):Urgent Protective Action Planning Zone

2. 原子力災害対策指針における緊急事態の防護措置の考え方

- 緊急事態の初期対応段階においては放射性物質放出前から原子力施設の状況に応じて、放射性物質放出後は緊急時モニタリングの結果に基づいて防護措置を実施。
- ① EAL(Emergency Action Level)による初期対応段階における防護措置
原子力施設の状況等に基づく緊急事態区分を導入し、その区分を判断する基準(EAL)を設定。EALに基づき防護措置を行う。
※施設敷地緊急事態要避難者の避難は通常の避難より時間がかかるため、EAL(SE)の段階から避難を開始する。
ただし、避難の実施により健康リスクが高まるおそれのある者は遠へい効果の高い建物等に屋内退避する。
- ② OIL(Operational Intervention Level)による放射性物質放出後における防護措置
国はEAL(SE)の段階で緊急時モニタリングセンターを立ち上げ、モニタリングを開始。放射性物質放出後、防護措置の実施基準(OIL)に基づきモニタリング結果から区域を特定し、PAZ外の住民の防護措置を実施。



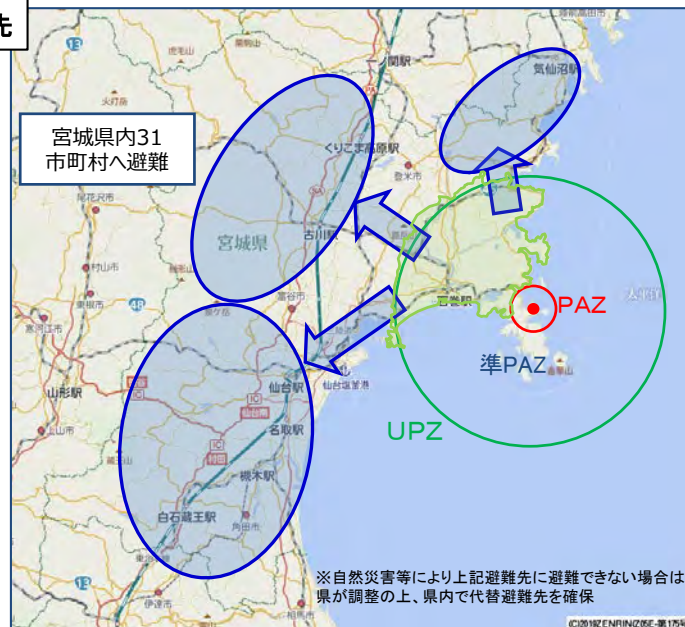
3. PAZ、準PAZ及びUPZの各自治体における広域避難先

- PAZ、準PAZ内、UPZ内の各市町の住民の避難先は、宮城県内で確保。
- 地域毎に予め避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

PAZ、準PAZ内市町の広域避難先



UPZ内市町の広域避難先



区域	種別※1	対象者数 (うち支援者数)	避難等の流れ			備考
			警戒事態	施設敷地緊急事態	全面緊急事態	
PAZ (発電所から概ね5km圏内)	施設敷地緊急事態(原災法10条)で避難開始	避難行動要支援者(在宅)	223人 (91人)	<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;">避難準備を開始</div> <p>対象者 223人 女川町 187人 石巻市 36人</p> <p><避難可能な者:213人></p> <p>一時集合場所 支援者とともにバス7台、福祉車両7台で避難(女川町121人、石巻市28人)</p> <p>支援者の車両で避難(女川56人、石巻8人)</p> <p><避難の実施により健康リスクが高まる者:10人> 福祉車両3台で移動(女川10人、石巻0人)</p>	<p>避難所受付ステーション 女川:栗原市若柳総合体育館 石巻:宮城県大崎合同庁舎</p> <p>避難所又は(福祉避難所) 栗原市3(22)施設 大崎市60(25)施設</p> <p>放射線防護対策施設(女川町2施設、石巻市2施設)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者は、避難所受付ステーションを経由して、指定された避難所へ避難。 避難の実施により健康リスクが高まる避難行動要支援者は、近隣の放射線防護対策施設へ移動。
		避難行動要支援者(学校)※2	31人 (19人)	<p>対象施設 石巻市(2施設 31人)</p> <p>保護者引き渡し</p> <p><保護者へ引き渡しができなかった児童等> バス2台で避難</p>	<p>避難所受付ステーション 宮城県大崎合同庁舎</p> <p>避難所 大崎市60施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校の児童等は、警戒事態になった場合、授業を中止し、保護者への引き渡し。 保護者へ引き渡しができなかった場合は、施設敷地緊急事態で避難を行い、避難先で保護者に引き渡し。
		その他の要避難者(妊婦、授乳婦、乳幼児等)	112人	<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;">避難準備を開始</div> <p>対象者 112人 女川町 90人 石巻市 22人</p> <p>一時集合場所 バス7台で避難</p>	<p>避難所受付ステーション 女川:栗原市若柳総合体育館 石巻:宮城県大崎合同庁舎</p> <p>避難所 栗原市3施設 大崎市60施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦、授乳婦、乳幼児等の避難に時間を要する者は、施設敷地緊急事態で避難を開始。
		一般住民	778人	<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;">一般住民の避難準備を開始</div> <p>対象者 778人 女川町 270人 石巻市 508人</p> <p>一時集合場所 バス13台で避難(女川町100人、石巻市165人)</p> <p>自家用車で避難(女川町170人、石巻市343人)</p>	<p>避難所受付ステーション 女川:栗原市若柳総合体育館 石巻:宮城県大崎合同庁舎</p> <p>避難所 栗原市3施設 大崎市60施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> 住民はあらかじめ定められた避難所へ避難。 自家用車を利用可能な者は自家用車で移動。自家用車を利用できない者は、宮城県、女川町及び石巻市が手配した車両等で移動。
	PAZ内人口	1,113人				

※1 PAZ内に医療機関、社会福祉施設はなし。

※2 学校の避難行動要支援者は、他の種別と重複している。